

# 情報連絡員総括表（2023年11月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI 値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2023年11月のDI 値は、前月との比較において、「売上高」「資金繰り」「設備操業度」の3指標が悪化。その他6指標が改善した。設備操業度が16.8ポイント悪化しているが、その他の指標の増減はすべて10.0ポイント以内と、前月から大きな変化は見られなかった。しかし、製造業と非製造業を比べると、製造業では悪化の項目が多い一方、非製造業ではすべての項目で改善が見られており、業種によって景況に差が出ている。

○「製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「取引条件」の2指標が改善し、その他7指標が悪化した。特に「収益状況」「資金繰り」がともに16.7ポイント悪化しており、DI 値はマイナス26.7とすべての項目の中で一番マイナス値が大きくなった。金属製品製造業からは「組合員1社が資金繰り悪化のため、会社更生法適用を申請し手続きに入った」生産用機械器具製造業からも「収益及び資金繰り悪化、8月頃から非常に厳しい状況が続いている」とコメントがある。

○「非製造業」では、前月との比較においてすべての指標が改善した。特に「収益状況」は23.3ポイント改善し、野菜・果実小売業からは「猛暑による野菜類の価格高騰は収まってきた」個別工事業からは「労務費上昇に伴う価格交渉はおおむね良好な状況」とコメントがあるなど、業種ごとの収益改善の要因がうかがえる。一方、「鮮魚小売業」「宿泊業」「道路貨物運送業」「道路旅客運送業」で人材不足に関するコメントが見られた。

(DI 値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2023年11月	-3.4	-7.0	35.6	0.0	-15.3	-20.3	-13.4	-3.4	-16.9
2023年10月	3.3	-2.3	33.3	-10.0	-18.3	-18.4	3.4	-6.7	-25.0
増減	-6.7 ↓	-4.7 ↑	2.3 ↑	10.0 ↑	3.0 ↑	-1.9 ↓	-16.8 ↓	3.3 ↑	8.1 ↑

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2023年11月	-16.6	-23.3 ポイント	↘	10.4	10.4 ポイント	↗	-3.4	-6.7 ポイント	↘			
	2023年10月	6.7			0.0			3.3					
在庫数量	2023年11月	0.0	-3.3 ポイント	↗	-23.1	-8.8 ポイント	↗	-7.0	-4.7 ポイント	↗			
	2023年10月	3.3			-14.3			-2.3					
販売価格	2023年11月	23.3	-3.4 ポイント	↘	48.3	8.3 ポイント	↗	35.6	2.3 ポイント	↗			
	2023年10月	26.7			40.0			33.3					
取引条件	2023年11月	3.3	3.3 ポイント	↗	-3.4	16.6 ポイント	↗	0.0	10.0 ポイント	↗			
	2023年10月	0.0			-20.0			-10.0					
収益状況	2023年11月	-26.7	-16.7 ポイント	↘	-3.4	23.3 ポイント	↗	-15.3	3.0 ポイント	↗			
	2023年10月	-10.0			-26.7			-18.3					
資金繰り	2023年11月	-26.7	-16.7 ポイント	↘	-13.8	12.9 ポイント	↗	-20.3	-1.9 ポイント	↘			
	2023年10月	-10.0			-26.7			-18.4					
設備操業度	2023年11月	-13.4	-16.8 ポイント	↘					-13.4	-16.8 ポイント	↘		
	2023年10月	3.4							3.4				
雇用人員	2023年11月	-6.7	-3.3 ポイント	↘	0.0	10.0 ポイント	↗	-3.4	3.3 ポイント	↗			
	2023年10月	-3.4			-10.0			-6.7					
業界の景況	2023年11月	-20.0	-3.3 ポイント	↘	-13.8	19.6 ポイント	↗	-16.9	8.1 ポイント	↗			
	2023年10月	-16.7			-33.4			-25.0					

## 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況		
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化	
製造業	食料品	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0
	繊維工業	2	1	0	1	2	0	0	0	1	2	0	2	2	1	0	1	1	1
	木材・木製品	0	3	1	0	0	2	0	1	0	3	0	2	0	3	0	2	0	2
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1
	印刷	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	鉄鋼・金属工業	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1
	一般機器	1	2	1	1	0	0	1	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	輸送用機器	2	2	2	0	2	0	1	0	2	2	0	1	2	2	1	1	2	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	X					
	小売業	1	2	0	1	4	1	0	1	0	3	0	2						
	商店街	1	4	0	2	2	2	0	1	0	2	0	2						
	サービス業	3	0	X				3	0	1	1	1	1					0	
	建設業	1	1					2	0	1	0	2	1					1	1
運輸業	2	0	X				4	0	0	0	2	0	0	1					

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・インフラコスト上昇に伴う製品の値上げ交渉が功を奏し売上高は若干上昇した。しかし、原料の数量が減少し設備の操業率が低下した事によるコストダウンによる収益アップと言う側面も持ち合わせている事から年度末まで楽観は出来ない状況ではある。
織物業	・綿、絹織物の生産がコロナ禍以前の水準の8割まで回復したが、織屋の廃業等の影響でこれ以上は生産が増えないと思われる。この状況が来春以降も続くだろう。
印刷・同関連業	・ここ数年は11月の収益が低くなる傾向にある。原因は不明。来年の11月対策を今からしなければならぬ。
骨材・石工品等	・売上増加、収益好転の組合員と、売上減少、収益悪化の組合員があり様々である。
金属製品	・当組合の組合員1社が資金繰り悪化のため、会社更生法適用を申請し受理され手続きに入った。
生産用機械器具	・親会社の受注減少による売上減少で収益及び資金繰り悪化、8月頃から非常に苦しい状況が続いている。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の白物家電の業界統計では消費者マインドの冷え込みやサービス消費へのシフトなどによりマイナスとなった。</li> <li>・大型冷蔵庫は販売低迷により生産はマイナスが続いている。</li> <li>・家庭用エアコンは需要の回復傾向を受けて生産は前年比プラスに転じた。</li> <li>・業務用エアコンは前年比マイナスが継続している。</li> </ul>
輸送用機械器具	・四輪の生産は順調に回復してきて多忙な状況となっているが、その他の製品群ではモデルによって市況の影響が出ており受注部品によって企業毎に生産量の差が出ている。
	・高圧電力に対する補助制度は、それぞれ始まっているが、物価、材料、人件費等の高騰の中で受注の減少が依然続く企業もある。
	・受注量が少ない状況に変わりなし。

## 非製造業

セメント卸売業	・11月の出荷は、災害復旧工事が寄与し4ヶ月振りに前年実績を上回った。メーカーの価格引上げについては、令和6年1月より受諾することで決着した。
鮮魚小売業	・値上げの影響で節約志向が強まっており、来客数が伸び悩んでいる。年末年始の需要も期待できそうにない。業界全体で人手不足が深刻。
野菜・果実小売業	・猛暑による野菜類の価格高騰は収まってきたが、果物類や一部野菜類でも尚高騰しているものがある。
各種商品小売業	・少しづつ景況はよくなってきた。
	・11月のイベントでは、街中での演技が少なく、商店街としては少し賑わいに欠けるとの意見もある。1日から30日まで実施したクーポン事業での効果があった。次回の買い物で使えるクーポンを600万円分発行した。500円の買い物で100円のクーポンを発行。客数が多い店は、2・3日で配布が終了した。
	・昨年に比べ店舗数減と飲食店舗が改装のため休業した関係で、少し売り上げを落とした。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比101.9%と増加した。市の応援キャンペーンの好影響もあり、個人客・グループ客共に増えている。雇用状況は引き続き人手不足の状況。
	・コロナウイルスがある程度収束したことから、旅行需要、特にインバウンドの増加が目立ってきた。しかしながら、まだコロナ前の状況には至らず、売上高の上昇は見られるものの各種経費の増大により収益率は厳しい状況が続いている。人手不足対策として人材派遣事業者への対応を積極的に進めている。
総合工事業	・建築工事は11月も来年着工の見積依頼が増加している。年末に完成予定の物件を仕上げるのに忙しい。最近では社員10名程度の会社のM&Aの話しを耳にする。
	・業界自体は、あまり良くない感じはする。仕事がなく暇だと言う声をまわりからよく聞くので、今年度までは期待できそうもない。上記のような事が続くと、資金繰りが厳しくなってくる会社が増えそう。要注意。
職別工事業	・労務費上昇に伴う価格交渉はおおむね良好な状況
道路貨物運送業	・人材不足に悩んでいる企業が多くある。運送は単に定年を伸ばせばいいという問題ではない。
道路旅客運送業	・9月に実施した運賃改定の効果もあってか、10月の運送収入は3.6ポイント上がったものの、運賃改定率10%に比べると低い数字にとどまっている。また、輸送人員は運賃値上げによる逸走があったためか1.3ポイントマイナスになっており、ドライバー不足による供給力不足とともに不安材料となっている。

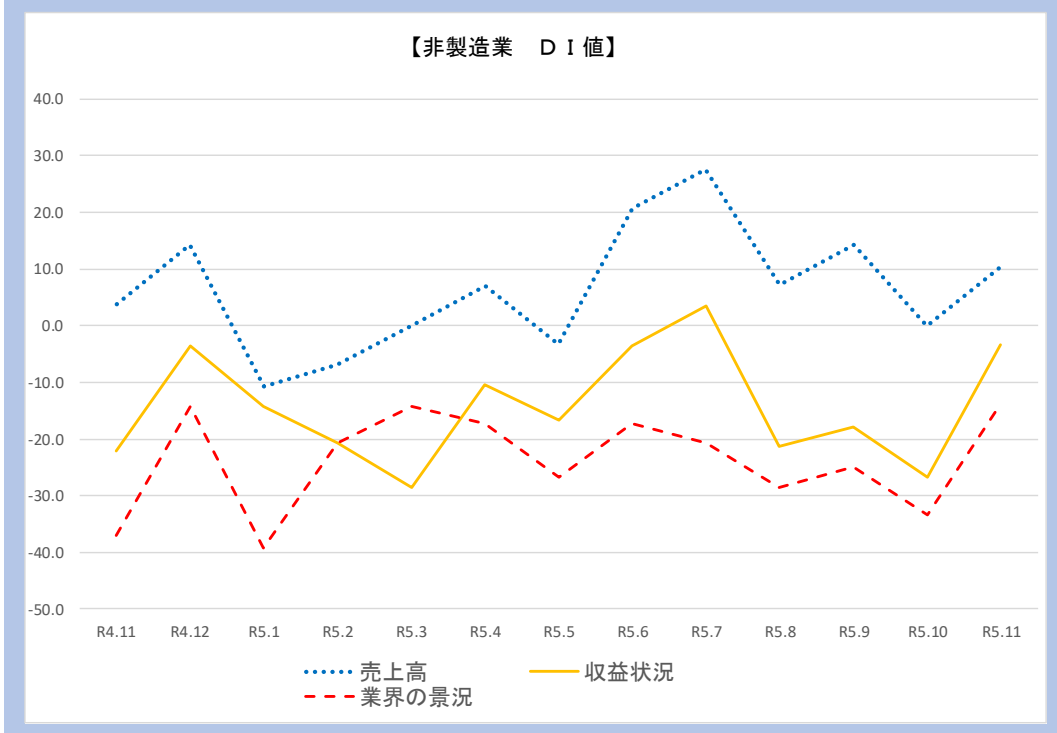
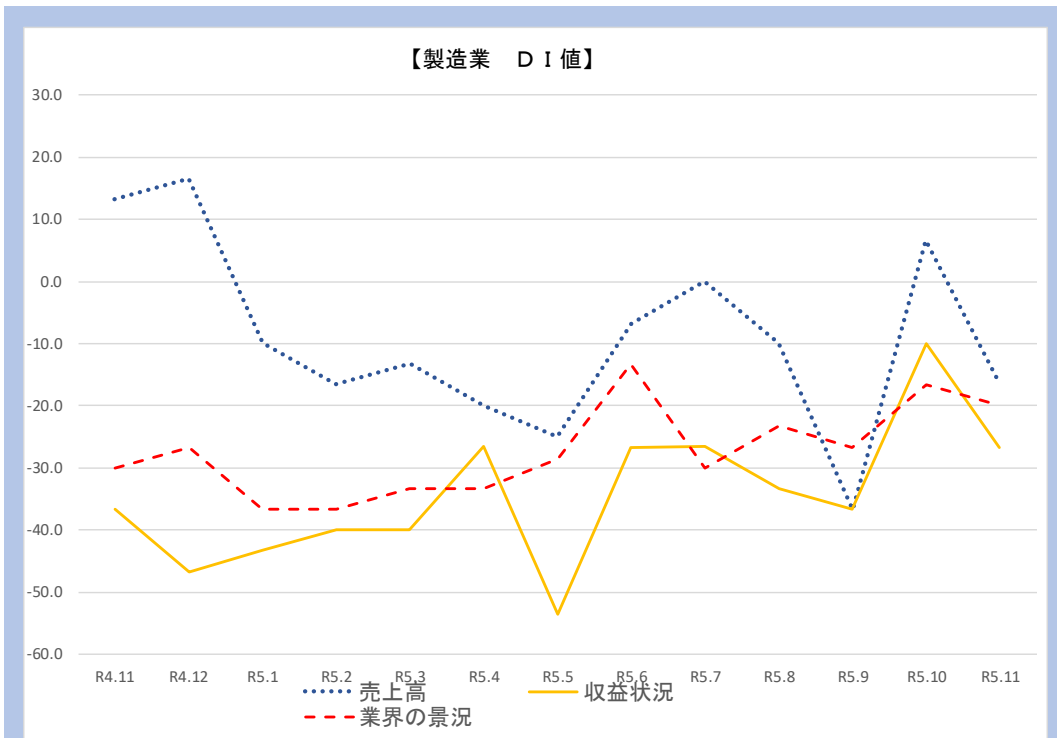
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■2022年11月期～2023年11月期までの推移

全体	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
売上高	8.8	15.5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6	-1.7	-12.1	3.3	-3.4
収益状況	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3
業界の景況	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9

製造業	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
売上高	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6
収益状況	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7
業界の景況	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0

非製造業	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
売上高	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4
収益状況	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4
業界の景況	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8



■ 2022年11月期～2023年11月期までの推移

売上高	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
製造業	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6
非製造業	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4

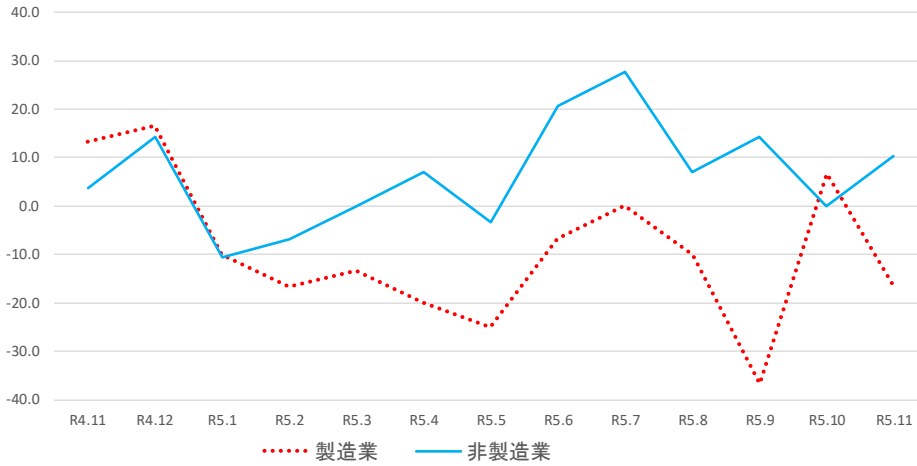
  

収益状況	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
製造業	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7
非製造業	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4

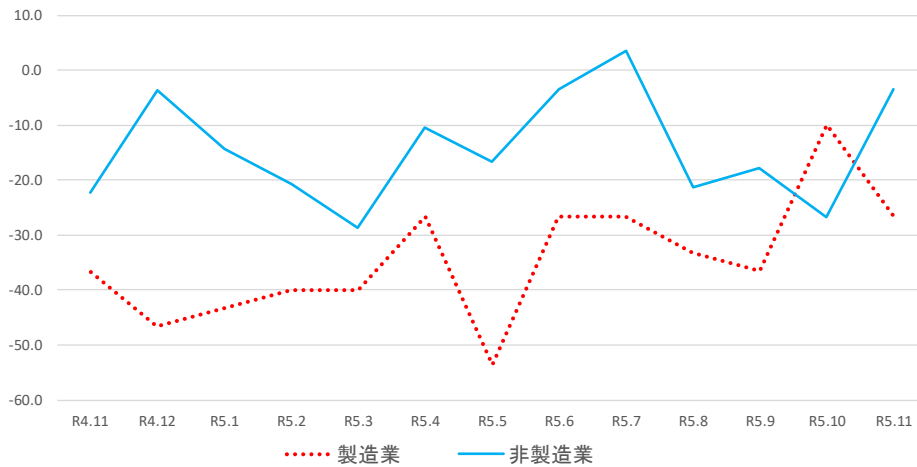
  

業界の景況	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
製造業	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0
非製造業	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値】

